



長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。ひっそりとしていた幼稚園に子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休み中にご家庭でさまざまな体験をされたのでしょうか。久しぶりに会った子どもたちは、心も体もひとまわり大きく成長したように感じられます。

さて、今年の夏も記録的な暑さとなりました。2年前、国連のグテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と警鐘を鳴らしました。その言葉どおり、その後も気温の上昇は続き地球規模での気候変動は現実の問題となっています。

そんな7月のある日、幼稚園のプールでピンッとお尻をあげて止まっているトンボを見付けました。「トンボが逆立ちしてる！」と大騒ぎの子どもたち。しばらく様子を見ていましたが、いつまでもその姿勢のまま動きません。「なんで動かないの？」と不思議に思った子どもたちは早速調べてみました。すると、この逆立ち姿勢には意味があり、気温が35度を超えるとトンボは「オベリスク姿勢」といってお尻を上げて日差しを受ける面積を減らし、体温の上昇を押さええるということが分かりました。これは「トンボの暑さ対策」だったのです。この発見をきっかけに、子どもたちは気温に関心をもつようになり「今日は38度もある！暑い！！」と、毎日の気温の変化に目を向けるようになりました。



十数年前までは「幼児期に環境教育はまだ早い」といわれていました。しかし、地球規模の気候変動が叫ばれている今、その時代を生きていく子どもたちには幼児期から自然や生態系の大切さを感じる体験が欠かせません。“なぜ幼児期から生態系を学ばなければいけないのか？なぜ自然を大切にしなければいけないのか？”それは、私たち人間の生存が生態系に支えられているからです。酸素をつくる存在、排泄物を分解する存在、そして私たちが他の生物の命をいただいて生きていること…人間は多くの生物に支えられて生きているのです。そうしたつながりを考えられる人を育てていかなければ生態系は崩壊してしまいます。年々、観測史上最高記録が更新され、2050年頃にはさらに過酷になると予測されています。子どもたちはそういう未来を生きていかなければなりません。だからこそ、幼児期から自然に触れ、気づき、考え、学びながら生態系とのつながりを実感できる体験が大切なのです。子どもたちが自然を通して驚き、発見し、考えを深めていく姿こそ、まさに幼児期の環境教育です。これからも自然体験を大切に、未来を生きる子どもたちに必要な力を育てていきたいと思っております。

今学期も、保護者の皆さま、地域の皆さまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。
園長 横大路 久美



—育てたいこと—

- 3歳児 ・園生活のリズムを取り戻し、身の回りのことを自分でしようとする。
・友達と一緒に身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 4歳児 ・園生活のリズムを取り戻し、生活に必要なことを自分でしようとする。
・友達と一緒に身体を動かして遊ぶ楽しさや、みんなで一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 5歳児 ・戸外で十分に身体を動かし、意欲的に取り組み、達成感や充実感を味わう。
・身近な草花や虫を見たり触れたりしながら、初秋の自然に関心をもつ。

夏休み登園日の様子です！



プール遊び楽しかったね！



プラネタリウム見学へ行きました！！
映画もみました!(^^)!



富田林おはなしの会の方に来ていただきました。
いろいろな絵本や素話を楽しみましたよ(*^_^*)

みんなのやくそく

はやね・はやおきをして げんきいっぱい
ようちえんにきましょう！！

お家の人へ

園生活のリズムを取り戻し、楽しい毎日が過ごせるように、早く布団に入るようにサポートをお願いします。眠りにつかなくても、横になってゆっくりとするだけで体力が回復されると思います。まだまだ暑い日が続きます。子どもたちが元気に登園することができるようお願いします！！



9月の子育て支援広場の予定

あひる組【2歳児：R4.4.2~R5.4.1うなれ】9:30~11:00
 11日(木) 園庭遊び・制作遊び 他
 18日(木) 園庭遊び・制作遊び 他
あひるの親子【0~2歳児：R3.4.2うまれ以降】
 4日(木) 9:30~11:00 運動会お面づくり・誕生会他

☆公開保育のお知らせ☆

9月4日(木)9:20~11:00
未就園児の保護者対象に保育を公開します!幼稚園の様子を見学したい方はお越しください!